

第29回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 平成28年12月15日(木) 13時30分～

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・秋葉区3包括連絡会より
用紙を差し込む順番について（コミュニケーション欄、様式2-1、2-2、3-1、3-2、3-3）頁の順番指定についての検討あがる。
シート6連絡表の次頁への差し込みが決まる。
- ・情報共有連絡表 用紙の色について
コミュニケーション欄用紙の緑色は使用時分かりやすいとの声もあり、新潟市より緑色で用紙の準備が可能であると回答あり。
- ・用紙の差し込みについて
むすびあい手帳へセットされている用紙は抜かず、必要な用紙を差し込む。
- ・あきは食のサポートチームでの手帳活用について
VE、VE結果用紙を差し込む
対象患者にはむすびあい手帳を所持していない患者もいる。
必要となった場合、同意書を取れば病院での手帳発行は可能か。
あきは食のサポートチームにて介護サービスを利用していない対象患者の対策を検討する必要がある。
- ・各事業所での手帳活用について
グループホーム、特別養護老人ホーム等利用者の手帳利用数は少ないのが現状である。手帳の活用を広める方法を検討する必要がある。

2. 連携手帳の発展的利用

- ・訪問看護より 生活経過記録（シート11-2）利用について
DS等では利用少ない。又、独自の用紙の利用も多い。
関係機関記入欄へは処置方法、留意点をサービス事業者への連絡として記載している。コミュニケーション欄は主治医への報告、訪問看護師との連絡調整として使い分けている。
生活経過記録は本人、家族から関係機関（施設・事業所）への情報発信として利用し、事業所への処置方法、留意点等はコミュニケーション欄へ記載することとする。

3. 新潟市在宅医療 I T連携事業への参加

- ・ N e t 4 U新規導入予定施設一覧配布（H28.12.13 現在）
- ・ 運用 随時設置し利用可能な状況である。
- ・ 秋葉区内での使用方法について
地域連携手帳委員会で検討することが決まる。

4. その他

- ・ むすびあい手帳の広報 ポスター配布予定
新潟市より発行の「認知症安心ガイドブック」へむすびあい手帳の活用方法の
説明記載あり。

次回手帳委員会

平成29年 2月16日（木）午後1時30分から

新津医療センター病院大会議室